

デザインサーベイの進め方（北山エリア）

北山エリアの3ヶ所のデザインサーベイを行います。実習の最後にスケッチブックを点検します。デザインサーベイを振り返って、コンセプトづくりやコンセプトの空間化へのヒントとしましょう。

スケジュール

13時30分～14時10分	京都コンサートホール (徒歩で移動)
14時20分～15時00分	陶板名画の庭(入場料100円) (徒歩で移動)
15時10分～15時40分	賀茂川・半木の道
15時40分～16時00分	スケッチブックの点検(その場で返却します)
16時00分	現地解散

各空間事例の概要

京都コンサートホール 磯崎新／磯崎新アトリエ 1995年

平安建都1200年を記念する事業の一環として計画された。京都初のクラシック音楽専用ホール。大ホール、ホワイエ(ロビーのこと)、小ホールの3つの要素からなり、それぞれが京都に特有の3つの軸線に沿うように配置されている。敷地の奥まで引き込まれたアプローチ動線は、建物内部で逆方向に折り返されてエントランスホールに至り、さらに螺旋状のスロープでターンを繰り返しながら大小ホールに到達する。劇的なアプローチ演出。¹⁾

陶板名画の庭 安藤忠雄／安藤忠雄建築研究所 1994年

セラミックス技術によって、耐候性のある陶板として再現された世界の名画を鑑賞するための野外美術館。1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会」における安藤の設計によるパビリオン、「名画の庭」で展示された陶板画が移設されたもの。建物は改めて設計しなおされた。動線は、地上レベルからカスケード(布状に落ちる滝のこと)をかいくぐって複雑に折り畳まれながら地下2階へと達し、また別の動線によって地上レベルへ戻る。立体的な廻遊式庭園である。²⁾

賀茂川・半木の道

賀茂川の北大路橋と北山大橋の間、左岸(東側)堤防上にある散策路が半木の道(なからぎのみち)です。「半木」とは、川の隣にあった流木神社の名前に由来しているそうですが、洪水で流されてしまったのをきらって「半」の字をあてるようになったとか。この散策路の隣にある京都府立植物園内には、「半木の森」と呼ばれる山城平野の植生をとどめる自然林があり、その中ほどに半木神社があります。この堤防上に、京都鴨川ライオンズクラブの手によって1972年～1976年の間に紅枝垂桜が植樹されました。その後も整備・保護が続けられ、半木の道は絶好の散歩コースとして地元の人々に愛される散策路となっています。桜の見頃の時期にはライトアップもされています。隣に京都府立植物園の林が控えていることもあり、春だけでなく夏の深緑、秋の紅葉と四季それぞれの散策が楽しめます。河川敷に降りれば、賀茂川の川岸に咲く草花や、集まってくる鳥たちの姿も眺められ、手軽に行ける散策路として人気があり

ます。³⁾

各空間事例で調査すること

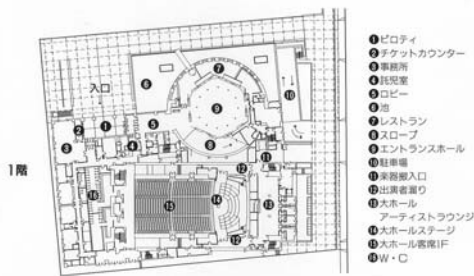
京都コンサートホール

1) 京都コンサートホールでは、風水の思想をもとに、大ホール、ホワイエ、小ホールが京都に特有の3つの軸線に沿うという壮大なコンセプトのもとに設計されている。3つの軸を探し出してみよう。

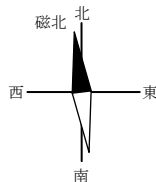
3つの軸：

1. 真北
2. 風水の北（磁北）
3. 風水で重要な船岡山を起点に、真東に下鴨神社があり、さらにそれと同じ距離だけ賀茂川と同じ角度で延長すると、その先には上賀茂神社がある。

平面図



京都コンサートホール1階の平面図⁴⁾



京都では磁北は真北から西に約7度傾く



京都コンサートホールのデザインに組み込まれた3つの軸⁵⁾

- 2) 1階レストランから見える外の景色にはどのようなデザイン上の工夫が施されているか？
- 3) 京都コンサートホールでもっとも気に入った空間のスケッチをし、気に入った理由を書き込もう。
- 4) 本実習の課題対象地でも、(風水に限らないが) 類似の重要な軸線をコンセプトとすることは可能であろうか？一度考えてみるとよい。
- 5) スロープの勾配は約何%だろうか？歩きやすいか？車イスの利用はどうだろうか？

陶板名画の庭

1) この空間事例は、床、壁、スロープ等の非常にシンプルな要素を使って作り上げられている。しかし、そのシンプルさとは裏腹に、この空間は立体的な廻遊式庭園として、想像以上の変化に富んだ体験をさせてくれる。庭の入口から出口までのシークエンシャルな(連続的な)体験の変化を、最低5枚のスケッチに記録することにより、この空間に隠された秘密を分析してみよう。

2) スロープの勾配は約何%だろうか？先ほどの事例と比較し、歩きやすさや車イスの利用に

関して違いはあるか？

賀茂川・半木の道

- 1) 今日、訪れる事例の中で、もっともランドスケープらしい空間はこの半木の道である。建築空間とランドスケープ空間の違いは何であるのか、ランドスケープの空間の特長について考えてみよう。
- 2) また、そのような特長が活かされていると思われる空間を3つ探し出し、スケッチとコメントにより記録してみよう。
- 3) 階段の蹴上げと踏み面の寸法を測定し、歩きやすいかどうかを確かめてみよう。

引用文献

- 1) ギャラリー・間（1998）建築MAP 京都. TOTO 出版, p. 125.
- 2) ギャラリー・間（1998）建築MAP 京都. TOTO 出版, p. 126.
- 3) http://www.kyoto-osaka.com/guide/spot/0079_nakaragi.html
- 4) 京都コンサートホールパンフレット
- 5) Mapion の地図画像をもとに改変 (<http://www.mapion.co.jp/>)